



園児「ラグビー楽しい！」 八学大生指導

八戸

子どもたちがラグビーに親しむきっかけに

八学大ラグビー部員の腰に着いたタグを取ろうと追いかける園児たち



見方は第3社会面に



おっと、八戸学院大学ラグビー部は30日、八戸市の南売市保育園(野沢宗巨園長)で、ルールの簡単な「タグラグビー」の教室を開いた。年長の園児27人が参加し、ラグビーボールのパス練習や腰に着けたタグを取り合うゲームを楽しんだ。

同部の山下祐史ヘッドコーチが「ボールをパスするときは下から」「相手が受け取りやすいように優しく投げよう」と手本を見せながら説明。

園児はサポート役のラグビー部員からアドバイスを受け、グループごとにパスを回す練習に取り組んだ。

終盤は、逃げるラグビー部員のタグを園児が奪うゲームをし、園児は歓声を上げながら元気にグラウンドを駆け回った。

橋本実知ちゃんは「みんなでラグビーボールをパスし合ったのが楽しかったよ」と満足げ。中森翼ちゃんは「追いかけるのも逃げるのも面白かった。お兄さんたちにまた来てほしいな」と笑顔で話した。

(工藤俊介)